

## 新除草・調節剤

### ブトックス乳剤 植物成長調整剤

(取扱メーカー) 高砂香料工業株式会社

**対象作物：**たばこ

**成分：**本剤は、ピペロニルブトキシサイド……54%を含む淡黄褐色透明油状の液体である。

**特徴：**たばこのオゾンタイプの光化学オキシダントによる被害(生理的斑点病)の防止に効果がある。本剤は、葉面に付着して、オゾンの障害を防止するものではなく、葉の内部に浸透して、オゾンによる細胞壁の膜透過性の破壊を防止するものと考えられている。

**毒性：**普通物で、哺乳動物に対する毒性は低く、殺虫共力剤として、食品添加物としても公定されている。魚毒性は、B類である。

**使用方法：**600倍の水に乳化させて(0.1%濃度)、開花期頃から7~10日間隔で、下位葉を主体に1株当たり50mlを均一に散布する。本剤は、10日間は効果が持続するので、中葉系の被害が出るおそれがある期間(20~30日)をカバーして、発生の防止をはかる。生理的斑点病は、その発生と病徴によって、I型からV型に分類されているが、被害が最も大きいのはⅡ、Ⅲ型であって、葉が最大葉面積に達したのち、老化期にはいった中、下位葉が最も感受性が高い。本剤は、このⅡ、Ⅲ型のタイプの被害を防止(予防)することを主眼として使用する。

**使用上の注意事項：**① 本剤は、オゾン以外の光化学オキシダントによる障害に対する効果については未確認であるので留意し、また光化学オキシダント以外の原因によって発生する生

理的斑点病に対しては効果がないので、間違っ  
てそれらに使用しないようにする。② 本剤は  
予防的に散布した場合に有効であるが、治療効  
果はないので、誤らないように注意する。③  
本剤は、下位葉を主体に散布するが、上位の若  
葉にかかると薬害を生ずるおそれがあるので、  
上位葉にはかからぬように注意する。④ 大土  
寄期頃までの早い時期の散布は、薬害を生ずる  
おそれがあるので、さけなければならない。開  
花期(6月中、下旬)に入ってから、散布をはじ  
めるようにする。⑤ 農薬の残留量が多いと、  
たばこの喫味に影響があるので、同じ葉に3回  
かからぬように考慮し、また散布から収穫まで  
最小限10日の間隔があるように、散布日・収穫  
日を設定する。⑥ 光化学オキシダントの濃度  
が高い場合には、効果が不十分になることがあ  
るので留意する。なお、この障害は、たばこの  
生育が軟弱な場合や肥料切れの場合に助長され  
るので、栽培管理に注意することも必要である。  
⑦ たばこの生育が軟弱な場合には、薬害を生  
じやすいので、使用をさけるか、あるいは散布  
時期をおくらせ、散布量を少なめにするなどの  
注意が必要である。⑧ 散布直後の降雨は、効  
果を減ずるおそれがあるので、降雨が予想され  
る場合は散布を見合わせる。⑨ 他剤との混用  
はさける。

### ダイヤメート®水和剤 クロルフラリム除草剤

(取扱メーカー) 三菱化成工業株式会社

**対象作物：**芝生(コウライシバ)。

**成分・作用特性：**本剤は、N-(4-クロロ